

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 1 月 20 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部経済学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2024 年 12 月 24 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア州立大学チャンネルアイランド校(日本語名) California State University Channel Islands(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2024 年 8 月~2024 年 12 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☒ その他: 州立
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬~7 月下旬 2 学期: 9 月中旬~2 月上旬	1 学期: 1 月下旬~5 月 2 学期: 8 月下旬~12 月中旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	1000 人超
創立年	2002 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (1 アメリカ\$) (1 現地通貨 = 150 円)	B 日本円	備考
授業料	3.660	円	
宿舍費	5.615	円	
食費	600	円	
図書費		円	
学用品費	100	円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	650	円	
旅費(留学中)	500	円	
被服費	200	円	
医療費		円	
保険費		40.500 円	形態:
渡航旅費		円	マイルを使用しました
ビザ申請費		40.000 円	
雑費		15.000 円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	11.325 (=1.698.750 円)	95.500 円	
総計(A+B) ※円	1794250 円		

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：LAX 経由地：

復路 出発地：LAX 目的地：羽田空港 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：JAL 料金：0 円

復路 航空会社：JAL 料金：0 円 ∴合計：0 円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前： Anacapa) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学のあつせん

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

けっこう過ごしやすかったです。ただよくも悪くもアメリカ人のルームメイトと過ごすため、妥協しなければならないことは出てくると思います。暖房やクーラーは全くと言っていいほど使いものにならないので自分で用意する必要がありました。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学や日本大使館から情報が送られてきました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

インターネットは少し弱いです。時折とても重い時がありました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金を多く持っていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本食(お米など)を大量に持っていくと何かと便利です。また消毒液やシャンプーなどはあったほうがいいと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払いました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Asian American Studies	アジアアメリカンスタディーズ
科目設置学部・研究科	
履修期間	8 月下旬から 12 月上旬
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Lilly Anne Tamai
授業内容	アジア系アメリカ人の変遷・歴史・移民について
試験・課題等	大きな試験が二回と課題が一週間に何回かありました。
感想を自由記入	教授が日本語が喋れる人だったので、いろいろな相談にのってもらっていました。 私が留学生ということをよくわかっている人で、課題の期限を延ばしてもらったり最終レポートの添削をしてもらったりしました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to Global Studies	グローバルスタディーズ入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	8 月下旬から 12 月上旬
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. Scholl
授業内容	グローバルな視点から世界の問題を考える授業です。
試験・課題等	大きな試験が二回とレポート課題が何個かありました。
感想を自由記入	教授が親切な人で生徒の意見を求めるような授業でした。どちらかというとディスカッション形式で授業が進んでいくようなイメージです。世界のニュースをとりあげることが多かったので、学べることが多く楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Interpersonal Communication	インターパーソナルコミュニケーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	8 月下旬から 12 月上旬
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	J.Jacob
授業内容	個人間で行われるコミュニケーションについてをプレゼンで発表していく授業でした。
試験・課題等	2 回ほどプレゼンテーションを行いました。ファイナルでは 6 ページほどのレポートを提出しました。
感想を自由記入	教授は優しく留学生に理解がありますが、しゃべるスピードが異常に早いです。一度ゆっくりしゃべってほしいことをお願いしましたが、忘れられて結局そのままでした。ファイナルの時に期限を延ばしてほしいことをお願いしたところ快く受け入れてくれたので、授業は受けやすかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Steel Drumming	スティールドラミング
科目設置学部・研究科	
履修期間	8 月下旬から 12 月上旬
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回
担当教授	Raymond
授業内容	ドラミングを演奏する。
試験・課題等	特になし
感想を自由記入	教授がとてもいい人でクラスメイトとともにリズムを合わせてドラムを演奏します。ただ音符の読み方が日本語とは違うので混乱しました。教授は教え方があまり得意ではないようで、それに関しては少し大変でした。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)
☐ 就職 ☐ 進学 ☒ 未定 ☐ その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。 ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。 就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	語学勉強・toefl
留学開始年	1 月 ~ 3 月	留学の願書を大学に提出
	4 月 ~ 7 月	航空券の確保・ビザ申請・滞在先確保・予防接種
	8 月 ~ 9 月	渡航・授業開始
	10 月 ~ 12 月	中間・期末・帰国
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私はカリフォルニア州立大学チャンネルアイランド校に一学期間留学をしました。8 月後半から留学を開始し、すでに終わってしまったのかと思うと寂しい気分です。最初の頃はアメリカの生活に慣れず、かなり悔しい思いをしたことを思い出します。こちらに来て最初の頃は英語のスピードが早すぎてまったく聞き取れず、会話ができないということも多々ありました。あまりのできなさに打ちのめされ、疲れ切った状態で死んだように眠ることを繰り返し、あげくにホームシックにかかるという悲劇。これが留学の試練かと思いながらもはいつくばって大学に通いました。ただその分、英語を使って分かり合えたときの達成感はとても大きかったです。私はできるだけいろいろな人に話しかけていたので、英語を話す機会を強制的に作り出し、スピーキングとリスニングの練習をしました。徐々に英語を話すことに戸惑いがなくなり少しずつ自分に自信が付きはじめ、最終的にアメリカ生活を快適に過ごすことができました。

大学で授業を受けていると、日本との教育方針の違いに驚かされました。例えばアメリカの学生は積極的に手を挙げるということです。質問や意見はなんでもないことでもいいように授業に関係ないことから話し始め、そこから話を広げるということが一般的です。とにかく意見を発表することが大切で、英語をうまく喋れるかどうかは二の次だと言われました。

私の大学はロサンゼルスから離れた場所にあるいわゆる辺境地なので、車がないと何もできません。そのため車を持っている友人を頼ったり、ルームメイトの手を借りて買い物に行ったりしました。ただ車社会と言われる通り、多くの人が車で移動しているため交通渋滞がしょっちゅう起こり、それに一時間ほど時間をとられました。またアメリカの交通機関はまず間違いなく不便で危険なため、日が落ちてからは女性一人で電車やバスに乗るのは避けなければなりません。時間どおりに来ないのは日常茶飯事で、実際に私も一時間遅れのアトラックに乗車しました。

休日には少し遠出することも多く、ロサンゼルスに行ったりサンタモニカに行ったりとミニ旅行をしました。アメリカの人たちはずっと陽気でテンションが高いので、心がポジティブになります。英語がわからなくてもとにかく聞く姿勢を持って、文法や単語を適当に話しているだけでも意外となんとかになります。どこかに出かけると日本とは違うものをたくさん見かけるので、とても楽しいです。